

ホンダ S660オーナーに送る  
チューニング&ドレスアップガイド

HONDA

# S660\*08

TUNING & DRESS-UP PERFECT GUIDE

手軽さと奥深さが絶妙バランス

## 軽オープン2シーター S660が10周年!!



10周年の感謝を込めて  
S660開発メンバーに訊く



100ps超えはあたりまえ!? タービンチューンのススメ

ドグミッションが導く新境地  
レース界No.1のS660好き

小林崇志



AUTO STYLE vol.62

2025年12月29日発行 CARTOPMOOK

AMW  
AUTO MESSE WEB



中古車価格は高値安定

断トツ人気は  
アクティブグリーン・パール  
最新タイヤ&  
カスタムガイド

AUTO STYLE vol.62

CARTOPMOOK ホンダ S660\*08 チューニング&ドレスアップ

2025年12月29日発行 発行●株式会社タイムズ社  
発行人●本誌編集部 ●プロダクション・デザイン・グラフィック ●編集●大塚 隆太郎 ●写真●大塚 隆太郎 ●イラスト●大塚 隆太郎

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7 販売部 ☎03(6803)3882(広告部) ☎03(6803)3883  
〒553-0003 大阪府堺区東島5-17-11 田中ビル6F 広告部 ☎06(6458)3130 定価 2,200円(送料2,000円)

BRIDE

LOW  
MAX

サーキットから街乗りまで、  
あらゆるシーンで活躍する  
スポーティ&スタイリッシュ  
リクライニングシート  
「ストラディアスリー・レイムス」

*stylish*



BRIDE SUPER SEAT  
BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社 BRIDE 株式会社  
〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号  
電話:(052)689-2611 ファクス:(052)689-2612  
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び  
販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

ブリッド&エディルプの最新情報は、こちら!  
<https://brideseats.com>



写真のモデルは、STRADIAIII REIMS・スタンダードクッション・ブラック&レッド(G71BNF)です。

# STRADIAIII REIMS

### VEHICLE

**NEXT GENERATION K-SPORTS**  
次世代の軽EVスポーツが見えた!!  
**MAKER&SHOP DEMO CAR**  
メーカー & ショップデモカー

### TUNING & DRESS-UP

**EXTERIOR MODIFY GUIDE**  
エクステリア モディファイガイド  
**S660 PARTS CATALOG 2026**  
2026年 最新チューニングパーツ図鑑

### MECHANISM

**HONDA TUNING SPECIALIST**  
ホンダチューナーに訊く S660の魅力  
**HOW TO FEEL REAL S660**  
S660本来の走りを楽しむリフレッシュ術



雑誌 63676-26(株)ロングセラー  
©Kotsu Times sha Printed in Japan 印刷:三共グラフィック株式会社

ISBN978-4-86542-814-8  
C9476 ¥2000E







車内空間がタイトなS660だが、XERO VS PLUSのショルダーサポートもドアへの干渉はなし。ただ小ぶりとはいえヘッドガードが備わるため、純正アクセサリーのスカイサウンドスピーカーの前方を覆うような形にはなってしまう。いっぽうLOW MAX機構の恩恵で着座位置が下がるため、広々とした頭上空間が実現できる。



モータースポーツシーンはもちろん、一般ユーザーがサーキットでスポーツ走行を楽しむ際もぜひ装着を推奨する安全装備がFHRシステム。そのためXERO VS PLUSでは大きなヘルムホルを備える。ショルダー部分の左右寸法が抑えられており、コンパクトスポーツにも最適。



腰回りや大腿部をしっかりサポートするサイドには、内側にキルティング加工を施した生地を採用。見た目の質感だけでなく、フィット感や座り心地が向上している。長時間の運転でも疲労を抑えてくれる。



新製品の「XERO VS PLUS」では、シート背面にハーフカバーすることで、後部座席のある車両への取付の際に別途必要なシートバックプロテクターが不要となった。導電性表皮材「カブロンST」を採用し、ドライバーと周辺に溜まっている静電気をボディ全体に分散させて帯電量を軽減。操縦安定性の向上と快適なドライビングに寄与している。



## 小型ヘッドガード装備の「VS」に 背面ハーフカバーを標準装備

XERO VS PLUS ◎価格:14万3000円～

クルマ趣味のスタイルは様々だが、S660のようなスポーツカーのオーナーであれば、愛車を自分だけのオリジナル仕様にモディファイすることを楽しむ人は多いだろう。その場合、まず重要となってくるのは目的に合わせたパーツ選び。例えばサーキットを走るならばまずはブレーキや冷却系の強化などが最優先だろう。自身がいかにか速く走れるかよりも、まずは一緒に趣味を楽しむ仲間や会場に配慮したモディファイが第一だ。その次は人によって考え方が色々あるけれど、オススメしたいのはスポーツタイプのシートへ交換することだ。ドライバーの身体をホールドしたり、車内をスポーティに演出するだけでなく、最適な運転姿勢を保つことでドライバーの疲労も低減。結果的に安全性の向上にも大きな効果がある。「シートでクルマの走りは変わります。エンジンチューンやサスペンション交換のように走行性能がアップするわけではありませんが、ドライバーの身体を支えて適切なドライビングポジションを保つことで、サーキットでのタイムは上がります」そう話してくれたのは、モータースポーツでも数多くのチームやドライバーが愛用する、スポーツシート専門メーカー「ブリッド」で工場長を務める、大田直彦さんだ。同社では製造部門の責任者であり、また新製品の開発も担当。まさにスポーツシートのすべてを知り尽くす職人である。

「ドライバーがクルマと接しているのはステアリングやシート、ペダルの3箇所です。その3箇所からクルマの情報を体感するのですが、なかでもシートは触れている面積がもっとも大きい部品ですから、その果たす役割は非常に大きいです」

## [BRIDE]

# 「正しい運転姿勢がもたらす価値」 スポーツカーに最適なシート選び

青山義明=写真  
Yoshiaki AOYAMA

佐橋健太郎=文  
text by Kentaro SABASHI

取材協力:ブリッド (TEL:052-689-2611) <https://brideseats.com>

スポーツカーに限らず、クルマの運転において正しいドライビングポジションの確保は極めて重要だ。しかし正しいポジションは、優れたシートがあってこそ。S660という車内スペースが限られるクルマであっても、日常使用における快適性とコーナリング時の横Gに負けないホールド性を両立させたフルバケットシートを探さず、スポーツシート専門メーカーのBRIDEを訪ねた。







S660オーナーの菊池さんは、運転席に「ZETAIV Verio」、助手席には「ZETAIV」を装着。ZETAIV Verioは座面底部に約15mmの高硬度ウレタンを接着、座面シートクッションも取り外し可能な約15mmのウレタンが内蔵されており、標準モデルのZETAIVと比べて最大で座面を約30mm上げることができるセッティングの広さが魅力とのこと。



A.i.R. (左) ◎価格：14万9600円



スリムでコンパクトなフォーミュラポジションと、LOWMAXシステムによる低いアイポイントを両立させたA.i.R.。コンパクトなヘッドレストを持ち、空気の流れをイメージしたというバックレストの形状も相まって、S660の純正アクセサリー「スカイサウンドスピーカー」にも干渉しない。



ZETAIV Verio (左) ◎価格：14万6300円  
ZETAIV VERIA (右) ◎価格：14万6300円



Owner: 菊池雅人さん

前号でも登場いただいた、S660オーナーの菊池さん。身長は172cmと一般的なながら、ウエストは65cmと成人男性ではスリムな体型。ほぼ毎日乗る愛車だからこそ、自身にマッチするバケットシートを探していたところ、BRIDEのシートに出会ったそう。

実際に気持ちいい走りを楽しめること、また方が一アクシデントの際もドライバーを守ってくれるという点で、ぜひ一度ブリッドのスポーツシートを体験してほしいとのこと。

「当然ですが、純正シートの性能を否定しているわけではありません。クルマやタイヤの性能は年々高まっており、ノーマルでもかつてのチューニングカー以上の旋回性能を誇るモデルがある。そのような高性能車でも、純正シートは様々な人が座ることを想定しているため、快適性を優先した結果としてコーナーリング中に体がズレたり、ブレーキングでシートが沈んで踏力が逃げてしまう場面がどうしてもある。それを補うのがスポーツシートの役割です。正しい運転姿勢のもとでのドライビングの

楽しさ、疲労感の少なさ、安全性の高さをぜひ体験してほしいです」

ブリッドでは様々なスポーツシートをラインナップしており、その総数は300種を超える。車内にリクライニングするスペースが存在しないS660の場合、軽量化も実現できるフルバケットシートがお勧め。

新作の「XERO VS PLUS」、そして定番人気の「ZETAIV」は特に支持が高いようだ。またシートレールは800車種以上が用意されているが、ブリッドではすべてが「日本製」に拘っているのも特徴だ。

「優れた品質のシートを提供するためには、手作業で製造を行う熟練した職人、高度な技術で開発されたシエールや生地などの素材が不可欠です。生産者の顔が見えること、日本ならではの精緻な技と豊かな創造力、そして作り手の洗練された技術・感性は必ずお客様にも伝わりと信じて日本製に拘っています」

正しい運転姿勢への飽くなき追求と、シートによる安全性の向上を掲げてクルマ社会へ貢献するブリッド。愛車のチューニング第一歩として、ぜひ同社製スポーツシートを検討してはいかがだろうか。言葉とおり「見える世界が変わる」ハズだ。



BRIDE  
大田直彦さん



日本人成人男性の平均である身長170cm前後/体重80kgくらいまでを想定して設計されたZETA IVのショルダー寸法は560mm、XERO VS PLUSの520mmに比べるとワイドなため、ドア内張りに干渉するものS660へ装着は可能。ヘッド部分の形状もスカイサウンドスピーカーの音質をそんぶんに楽しめる。



LOWMAXシステムの採用により、装着可能な対応車種の幅が広がったZETAIV。派生モデルとして、身長が160cm以下のスリムかつ小柄なドライバーに向けたスモールチューン仕様のVerioとVERIAもラインナップされている。



ZETAIVをはじめ、ブリッドのスポーツシートは道路運送車両法の保安基準に適合(車検対応)している。さらにFIA認証も取得しており、国際格式のレースや競技会での使用も可能となっている。



ZETAIVのシェルは、FRP製バルブとカーボン製シェルの2種類をラインナップ。カラーパリエーションはブラック、レッドの3種類が用意される。いずれも優れたホールド性と剛性、さらにはルックスを備えており、多くのドライバーから高い支持を集めている。



## 日本人の体型や骨格にフィットする 一番人気のスタンダードモデル

ZETAIV ◎価格：12万8700円～

プロのレーシングドライバーが、サーキットやワインディングでクルマを走らせる際に「車両の走りを腰(やお尻)で感じる」と話している姿を見たことある人は多いだろう。「愛車との楽しみかたにも多くのスタイルがあります。ドライビングを楽しみたい、ドライバーが運転スキル高めたいのであれば、まずドライバーの身体に近いところからチューニングすることが重要です」

そう話してくれる大田さん自身、ドライバーとしてモータースポーツに数多く参戦してきた経験を持つ。だからこそ言葉には熱が込められる。

大田さんが勤めるブリッドは、スポーツシートの専門メーカーとして81年に創業。モータースポーツシーンで蓄積されたノウハウを製品へフ

プロのレーシングドライバーが、安全にドライビングするためのシート開発や製造を行っている。

「正しいシートポジション、言い換えれば美しい座りかただと思えます。そのためには骨盤を立てること。自然と正しい姿勢になるようなシートは、なにより快適なものです」

その言葉が示すように、ブリッド製シートは長距離運転が求められる運送会社のトラックやバスにも採用・装着されているほか、自動車用スポーツシートの開発で培ったノウハウを活かしてJリーグやBリーグのスタジアムで選手用ベンチのシートも手がけている。さらに長時間の着座姿勢が強いられるオフィスチェアや、東京MX系のクルマ系番組でもスタジオに採用されている。

話をクルマに戻すと、S660オーナーのなかにも、サーキットを走る予定はないというオーナーは多いだろう。しかし長距離走行における疲労軽減や、ワインディングを走る